

1 専門教育科目の構成

1. 英語文化コミュニケーション学科の教育目的

英語文化コミュニケーション学科では、幅広い教養と実践重視の教育課程によって、現代社会で必要とされる英語力とコミュニケーション能力、またメディアを使った情報発信能力を身につける。それと同時に、コミュニケーションの基礎となる言語の機能や仕組み等「言語文化」に関する専門知識や、文学・演劇・美術等言語を主軸とする多様な「メディア文化」について幅広く学ぶ。高度な専門知と確かなメディアリテラシーにより、人と人、社会と社会とのつながりを構築し、現代社会における様々な課題解決力をもって、地域社会や国際社会に貢献できる人材を養成する。

2. 英語文化コミュニケーション学科の特徴

英語文化コミュニケーション学科は、以下の学びと能力開発の機会を提供する教育環境にあることに特色がある。

- ・ことばの普遍性と多様性を理解し、英語を中心に、ことばの運用能力を高める
- ・多様化する言語やメディア文化を学び、その事象を読み解く力を養い、現代社会を客観的に見るようになる
- ・意見表明や他者理解の方法の修得を演習方式で行い、より高次の運用能力を持てるようになる
- ・学内外、国内外での実践経験を積み、現代社会で通用するスキルを身につけ、他者や状況を理解するなかで、自らの能力を発揮させ、自分の考えを発信できるようになる

このような学びと経験を通じて、社会に自分の言葉で主体的に関わることのできる能力を育てる。

また、長・短期の海外研修制度があり、いずれも研修先の学修内容を英語文化コミュニケーション学科専門科目の単位として認定できるようになっている。

3. 教育課程の特色

英語文化コミュニケーション学科の専門教育科目は次の3つの科目群から成り、学年進級とともに、内容が初級から上級、入門から専門となるように配置されている。

- ①英語技能科目 (English Skills)
- ②専門基幹科目
- ③専門発展科目

①は、英語のスキルと運用能力の伸長をめざす。②は専門知識の修得と考察力を養う。③は演習や実践科目を中心とする。1年次から学びと実践が並行して行われるように、各学年に各科目を配置し、知識とスキルを身につけ、実践に結び付けていくとともに、実践を通して、知識の必要性とスキル伸長への意識を高めていく。

2 履修方法

◆卒業要件単位

卒業するためには、以下の要件を満たし、合計124単位以上履修しなければならない。

1) 一般教育科目

一般教育科目は、34単位以上を修得すること。その科目内訳は以下のとおり。ただし、外国語科目については自由選択科目の項を参照すること。

●必修科目 (計34単位)

- 1年次：「キリスト教学」、「基礎演習」、「日本語演習」、「女性と人権」、「自然科学入門」、「音楽の世界」、「リベラルアーツ基礎A」、「リベラルアーツ基礎B」、「体育実技」
- 2年次：「生活と福祉」、「リベラルアーツ基礎C」、「リベラルアーツ基礎D」、「リベラルアーツ総合A」
- 3年次：「キリスト教と現代社会」、「リベラルアーツ総合B」、「リベラルアーツスタディーズA」、「ライフワーク論」
- 4年次：「リベラルアーツスタディーズB」

●選択科目

- 1年次：「情報処理」
- 2年次：「体育講義」
- 3年次：「日本国憲法」
- 4年次：「キャリア形成論」
- 1～4年次：「シーズンスポーツ」
- 2～4年次：「スキルアップドイツ語」、「スキルアップフランス語」、「スキルアップ中国語」、「スキルアップ朝鮮語」、「スポーツ」
- 2～3年次：「実践フランス語Ⅰ」、「実践中国語Ⅰ」
- 3～4年次：「実践フランス語Ⅱ」、「実践中国語Ⅱ」

2) 専門教育科目

専門教育科目は、以下の要件を満たし合計78単位以上履修すること。

- (a) 「英語技能科目」必修12科目19単位を履修すること。
- (b) 「専門基幹科目」必修2科目2単位を含む36単位以上履修すること。
- (c) 「専門発展科目」必修5科目10単位 (「キャリアデザイン(基礎)」、「キャリアデザイン(発展)」、「卒業研究セミナーA」、「卒業研究セミナーB」、「卒業論文・制作」) および「専門セミナー(言語文化)A」と「専門セミナー(言語文化)B」または「専門セミナー(メディア文化)A」と「専門セミナー(メディア文化)B」のいずれかの組み合わせで選択必修2科目4単位を履修。このほかに選択3科目5単位の計10科目19単位を履修。
- (d) 「専門教育科目」4年次配当選択科目から4単位を履修。

※〈専門セミナーAとB〉、〈卒業研究セミナーAとBと卒業論文〉は、原則同じ年次に同じ担当教員の科目を前後期継続して履修すること。

3) 自由選択科目

その他に『専門教育科目の選択科目』、『一般教育科目の選択科目』から12単位以上履修すること。

ただし、そのうち4単位については1年次に一般教育科目の外国語科目からドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語のいずれかを選択して履修すること (「ドイツ語

コミュニケーションⅠ・Ⅱ]、「ドイツ語リテラシーⅠ・Ⅱ」または「フランス語コミュニケーションⅠ・Ⅱ]、「フランス語リテラシーⅠ・Ⅱ」または「中国語コミュニケーションⅠ・Ⅱ]、「中国語リテラシーⅠ・Ⅱ」または「朝鮮語コミュニケーションⅠ・Ⅱ]、「朝鮮語リテラシーⅠ・Ⅱ」)。

選択科目の履修については、P21を参照のこと。

●再度履修できる科目について

教育課程表のうち専門教育科目の再度履修欄に「可」とある科目は、何度でも履修できるが、卒業要件単位に加算できるのは1回分のみである。

ただし、「世界の言語（フランス語・中国語）」は1回目の履修とは異なる言語を選択した場合に限り、2単位まで卒業要件単位に加算できる。

また、「Integrated EnglishⅠ・Ⅱ」は、修得した単位数すべて上限なく卒業要件単位に加算できる。

●「海外研修」について

「海外研修」を履修する際には、「海外研修（事前学習）」を必ず同年度に履修すること。

●登録時期や授業の実施日等が通常と異なる科目

以下の科目については、登録時期や授業の実施日等が通常の科目と異なるため、それぞれのシラバスを確認すること。

「English Certification]、「グローバルコミュニケーション実習]、「文化コミュニケーション実習]、「キャリアデザイン（基礎）」、「キャリアデザイン（発展）」、「インターンシップ」

●キャップ制について

キャップ制とは、授業の予習や復習など教室外において学習する時間を考慮し、単位の過剰登録を防ぐため、学期間・年間に履修登録できる単位の上限を設ける制度である。

1年度あたり登録できる単位数は、前期、後期それぞれ28単位、通年で48単位を超えてはならない。

●その他

- A. 4年間で卒業要件単位数より少なくとも8単位上回るように履修することが望ましい。
- B. 英語文化コミュニケーション学科にかかわる連絡は、UNIPA および学科の掲示板（人文館4階ロビー）によって行う。重要な連絡等もあるので、毎日最低1回は確認すること。
- C. 「英語技能科目」は小クラス（a）（b）（c）等に分かれて授業を実施する。クラス名簿は4月に学科掲示板に掲示する。

3 取得できる免許と資格

英語文化コミュニケーション学科の学生は、次の教育職員免許状と資格を取得することができる。取得方法については、「資格・免許」（P112～）を参照すること。

免許：中学校教諭一種免許状（英語）

高等学校教諭一種免許状（英語）

資格：司書教諭、司書、学芸員

※4年次に教職課程の教育実習を行うためには、指定された科目の他に、以下のカッコ内のいずれかもしくはそれと同等の資格を実習の前年度末までに取得すること。（英検2級以上、TOEIC 550点以上、TOEFL ITP 450点以上など）

※学芸員に関する選択科目の「文化史」のうち英語文化コミュニケーション学科の「メディア文化史Ⅰ・Ⅱ」を履修した場合は、これを卒業要件単位に加算できる。

4 教育課程表の記号について

・「卒業要件」…卒業に関わる授業科目

・「免許・資格」…免許・資格取得に関わる授業科目

必修	◎
選択必修（複数の科目から指定の単位数を必ず選択する）	○
選択（卒業要件単位）	△
自由（卒業要件単位には含まれない）	◇
教職（中一種免・高一種免を両方取得希望者）必修	※

5 教育課程表

英語文化コミュニケーション学科教育課程表

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格								
				1年次	2年次	3年次	4年次			英語 (中学校)	英語 (高校)	司書	司書 教諭	学校 司書	学芸員			
MGRUSTANDARD	◎	キリスト教	2	2														
	◎	キリスト教と現代社会	2			2												
	◎	基礎演習	2	2														
	◎	日本語演習	2	2														
	◎	女性と人権	2	2														
	◎	自然科学入門	2	2														
	◎	音楽の世界	2	2														
リベラルアーツ	◎	リベラルアーツ基礎A	2	2				可										
	◎	リベラルアーツ基礎B	2	2				可										
	◎	リベラルアーツ基礎C	2		2			可										
	◎	リベラルアーツ基礎D	2		2			可										
	◎	リベラルアーツ総合A	2		2			可										
	◎	リベラルアーツ総合B	2			2		可										
	◎	リベラルアーツスタディーズA	2			2		可										
教	◎	ライフワーク論	2			2												
	△	キャリア形成論	2				2											
	△	情報処	2	2						◎	◎							
	△	H 本 国 憲 法	2			2				◎	◎							
育 国 語 科 目	○	ドイツ語コミュニケーションⅠ	1	1				同一外国語を 4科目4単位以上選択 必修		○	○							
	○	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1	1						○	○							
	○	ドイツ語リテラシーⅠ	1	1														
	○	ドイツ語リテラシーⅡ	1	1														
	○	フランス語コミュニケーションⅠ	1	1						○	○							
	○	フランス語コミュニケーションⅡ	1	1						○	○							
	○	フランス語リテラシーⅠ	1	1														
	○	フランス語リテラシーⅡ	1	1														
	○	中国語コミュニケーションⅠ	1	1						○	○							
	○	中国語コミュニケーションⅡ	1	1						○	○							
	○	中国語リテラシーⅠ	1	1														
	○	中国語リテラシーⅡ	1	1														
	○	朝鮮語コミュニケーションⅠ	1	1						○	○							
	○	朝鮮語コミュニケーションⅡ	1	1						○	○							
目	△	スキルアップドイツ語	1			1		可										
	△	スキルアップフランス語	1			1		可										
	△	スキルアップ中国語	1			1		可										
	△	スキルアップ朝鮮語	1			1		可										
	△	実践 フランス語Ⅰ	2		2			可										
	△	実践 フランス語Ⅱ	2			2		可										
	△	実践 中国語Ⅰ	2		2			可										
日	◎	体育実技	1	1						◎	◎							
	△	体育講義	1		1					◎	◎							
	△	シーズンスポーツ	1			1		可		△	△							
	△	スポーツ	1			1		可		△	△							

英語文化コミュニケーション学科

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格								
				1年次	2年次	3年次	4年次			英語 (中学校)	英語 (高校)	司書	司書 教諭	学校 司書	学芸員			
専 門 英 語 技 能 科 目 (E n g l i s h)	◎	Speaking & Listening I	2	2						◎	◎							
	◎	Speaking & Listening II	2	2						◎	◎							
	◎	Speaking & Listening III	2		2													
	◎	Speaking & Listening IV	2		2													
	◎	Intensive Reading I	1	1						◎	◎							
	◎	Intensive Reading II	1	1						◎	◎							
	◎	Extensive Reading I	1		1													
	◎	Extensive Reading II	1		1													
	◎	Writing	1	1						◎	◎							
	◎	Writing & Vocabulary	2	2						◎	◎							
	◎	Writing - Short Essay	2		2													
	◎	Writing - Long Essay	2		2													
	△	Academic Writing	2			2												
	△	Presentation in English	2			2					◎	◎						
	△	Integrated English I	2			2		可		△	△							
	△	Integrated English II	2			2		可		△	△							
	△	English Certification I	2			2												
	△	English Certification II	2			2												
	△	English Certification III	2			2												
教 育 基 礎 科 目	◎	ことばのしくみ	1	1						◎	◎							
	◎	コミュニケーションと文法	1	1						◎	◎							
	△	ことばの世界 (基礎)	2	2						◎	◎							
	△	ことばの世界 (発展)	2	2						◎	◎							
	△	英語発音法 (基礎)	2	2						△	△							
	△	英語発音法 (発展)	2	2						△	△							
	△	ことばと心理	2	2						△	△							
	△	心理言語学	2	2						△	△							
	△	手話コミュニケーション (基礎)	2	2														
	△	手話コミュニケーション (発展)	2	2														
	△	英語の歴史	2	2						△	△							
	△	ことばと情報	2			2												
	△	ことばと社会	2			2				△	△							
	△	社会言語学	2			2				△	△							
	△	言語学	2			2												
	△	言語学	2			2												
	△	世界の言語	1	1				可										
	△	異文化理解	2	2						◎	◎							
	△	異文化交流	2	2						◎	◎							
	教 育 基 礎 科 目	△	メディア概論	2		2												
		△	メディアリテラシー	2		2												
		△	メディア文化史 I	2		2				学芸員共通								○
		△	メディア文化史 II	2		2				学芸員共通								○
△		コミュニケーションとしての英語小説 (アメリカ)	2		2					◎	◎							
△		コミュニケーションとしての英語小説 (イギリス)	2		2					◎	◎							
△		アートとしての英語詩 (イギリス)	2		2													
△		アートとしての英語詩 (アメリカ)	2		2													
△		イギリス文学入門	2		2					◎	◎							
△		アメリカ文学入門	2		2					◎	◎							
△		物語論 / 映画論	2			2				△	△							
△		演劇 / パフォーミング	2			2												
△		SF 的想像力と社会	2			2				△	△							
△	グローバル化時代の文学	2			2				△	△								
△	アートとメディア	2			2													
△	アートとエンターテインメント	2			2													

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格								
				1年次	2年次	3年次	4年次			英語 (中学校)	英語 (高校)	司書	司書 教諭	学校 司書	学芸員			
専門教育科目	英語文化コミュニケーション学科	△コミュニケーション基礎セミナー	2	2														
		△メディアコミュニケーション基礎	2		2													
		△メディアコミュニケーション実践	2		2													
		○専門セミナー（言語文化）A	2			2												
		○専門セミナー（言語文化）B	2			2												
		○専門セミナー（メディア文化）A	2			2												
		○専門セミナー（メディア文化）B	2			2												
		△グローバルコミュニケーション実習	2			2			可									
		△文化コミュニケーション実習	2			2			可									
		△海外研修（事前学習）	2			2			可									
		△海外研修	4			4			可									
		◎キャリアデザイン（基礎）	1	1														
		◎キャリアデザイン（発展）	1		1													
		△ビジネスコミュニケーション	2			2												
		△インターンシップ	2			2			可									
◎卒業研究セミナーA	2					2												
◎卒業研究セミナーB	2					2												
◎卒業論文・制作	4					4												
教職に関する科目	英語文化コミュニケーション学科	◇教育原理	2	2								◎	◎				◎	
		◇教育制度論	2	2								◎	◎				◎	
		◇教職概論	2	2								◎	◎				◎	
		◇教育心理学	2		2							◎	◎				◎	
		◇教育方法論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。）	2		2							◎	◎					
		◇特別支援教育論	1		1							◎	◎				◎	
		◇教育支援課程論	1		1							◎	◎					
		◇道徳教育の理論と方法	2		2							◎	△					
		◇特別活動の理論と方法	1		1							◎	◎					
		◇総合的な学習の時間の指導法	1		1							◎	◎					
		◇生徒指導A（進路指導を含む）	2		2							◎	◎					
		◇教育相談	2			2						◎	◎					
		◇英語科教育法Ⅰ	2		2							◎	◎					
		◇英語科教育法Ⅱ	2		2							◎	◎					
		◇英語科教育法Ⅲ	2			2						◎	△					
◇英語科教育法Ⅳ	2			2						◎	△							
◇教職実践演習（中・高）	2					2				◎	◎							
◇教育実習A（事前事後指導を含む）	5					5				◎	※							
◇教育実習B（事前事後指導を含む）	3					3					◎							
図書館学に関する科目	英語文化コミュニケーション学科	◇生涯学習概論	2			2			学芸員共通				◎					
		◇図書館情報学概論	2		2								◎					
		◇図書館情報技術論	2		2								◎			◎		
		◇図書館制度・経営論	2			2							◎					
		◇図書館サービス概論	2		2								◎				◎	
		◇情報サービス論	2			2							◎				◎	
		◇児童サービス論	2			2							◎					
		◇情報サービス演習Ⅰ	1				1						◎				◎	
		◇情報サービス演習Ⅱ	1				1						◎				◎	
		◇図書館資料論	2				2						◎				◎	
		◇資料組織法概説	2			2							◎				◎	
		◇資料組織法演習A	1			1							◎				◎	
		◇資料組織法演習B	1			1							◎				◎	
		◇データベース特論	1				1							◎				
		◇専門資料論	2				2							◎				
◇図書館・図書館史	2				2							◎						
◇学校図書館サービス論	2				2							◎			◎			

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格						
				1年次	2年次	3年次	4年次			英語 (中学校)	英語 (高校)	司書	司書 教諭	学校 司書	学芸員	
司書教諭に関する科目	◇	学校経営と学校図書館	2				2						◎	◎		
	◇	学校図書館メディアの構成	2				2						◎			
	◇	学習指導と学校図書館	2				2						◎			
	◇	読書と豊かな人間性 情報メディアの活用	2				2						◎			
学芸員に関する科目	◇	生涯学習概論	2				2		図書館学共通						◎	
	◇	博物館概論	2	2											◎	
	◇	博物館資料論	2		2										◎	
	◇	博物館経営論	2		2										◎	
	◇	博物館情報・メディア論	2	2											◎	
	◇	博物館実習Ⅰ	1			1									◎	
	◇	博物館実習Ⅱ	2			2									◎	
	◇	博物館教育論	2	2											◎	
	◇	博物館資料保存論	2			2									◎	
	◇	博物館展示論	2		2										◎	
	◇	文化史	4			4			2科目8単位以上選択						○	
	◇	民俗学	4			4										○
	◇	美術史	4			4										○
◇	考古学	4			4										○	
計		一般教育科目	71													
		専門教育科目	138													
		教職に関する科目	38													
		図書館学に関する科目	29													
		司書教諭に関する科目	10													
	学芸員に関する科目	35														

英語文化コミュニケーション学科